



# アイランダー2025

## 開催報告

多彩な島々が  
1万人を超える来場者を魅了

写真・田中晴樹 文・清水・石川





1



3



2

二〇二五年一月二日〜三日、「池袋サンシャインシティ」にて全国の島々が一堂に会するイベント「アイランドデー」（主催：国土交通省・日本離島センター）を開催した。三三回目を数える今回は、八二団体、一七〇以上の島が参加前回から、岡山県犬島、宮崎県島野浦島、鹿児島県和泊町・知名町（沖永良部島）などの新たな顔ぶれを加え、コロナ禍以来初となる一万人を超える来場者に対し、それぞれの島の魅力を伝えた。

特に力を入れたのは特産品の販売で、九割ものブースが物販を実施した。お菓子や調味料、水産加工品など、各島の気候や風土、産業などを生かした商品は、現地に行かないと手に入りづらいものも多い。まずは物販を通して、気軽に島に関心を持っていただくところから始めることで、従来の移住・定住相談よりも敷居を下げ、来場者と出展者が交流しやすくなるように工夫を行なった。



8



4



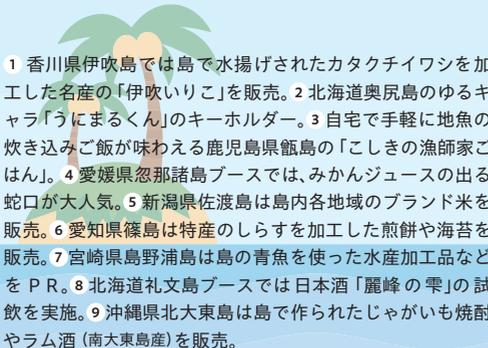
5



9



6



7

1 香川県伊吹島では島で水揚げされたカタクチイワシを加工した名産の「伊吹いりこ」を販売。2 北海道奥尻島のゆるキャラ「うにまるくん」のキーホルダー。3 自宅で手軽に地魚の炊き込みご飯が味わえる鹿児島県飯島の「こしきの漁師家ごはん」。4 愛媛県忽那諸島ブースでは、みかんジュースの出る蛇口が大人気。5 新潟県佐渡島は島内各地域のブランド米を販売。6 愛知県篠島は特産のしらすを加工した煎餅や海苔を販売。7 宮崎県島野浦島は島の青魚を使った水産加工品などをPR。8 北海道礼文島ブースでは日本酒「麗峰の雫」の試飲を実施。9 沖縄県北大東島は島で作られたじゃがいも焼酎やラム酒（南大東島産）を販売。



12



13



10



14



11

10 鹿児島県知名町ブースの、沖永良部島の貝殻を使用した「美ら玉アクセサリー作り」体験。11 粟島・佐渡島・飛島在住の出展者による三島トークショー。12 愛媛県上島町の「レモンびったり1kg 選手権」には来場者も参加。13 鹿児島県悪石島を訪れた際の思い出を語る、『孤独のグルメ』の原作者・久住昌之氏。14 鹿児島県三島村特産の「大名竹」を材料とする竹細工体験。15 鹿児島県口永良部島は夜光貝を磨いて小物に加工する体験を実施。16 近年恒例の時間内にサザエを積み上げる山形県飛島の「スタッキングサザエ」。17 沖縄県渡嘉敷村青年会による「エイサー演舞」。18 今回のアイランダーでは青ヶ島の選任太鼓も演奏された。19 毎年楽しみにしている来場者も多い八丈太鼓。 ※QRコードより各ステージのアーカイブをご覧ください。



※





20 島グルメコーナーには、屋久島・長島町・保戸島・海士町の海の幸を一度に味わえる新メニュー「4種の島の贅沢海鮮漬け丼」が登場。21 アイランダーに合わせ、サンシャイン水族館で島の自然や生きものを紹介するパネルが展示された(矢印)。22 島の博物館として奄美博物館が初出展。世界自然遺産・奄美大島の動物について標本を使って紹介。23 24 今回も「島めぐりスタンプラリー」を実施。各島のブースに設置された全6個のスタンプ(デザイン：うつみりんか)を集めると、特製トートバッグ(同：池城由紀乃)をプレゼント。25 9月に大阪で開催された「島EXPO」からも一部の事業者が出展。26 1日目終了後に「出展者交流会」を実施。島同士で親交を深めた。27 アイランダーに合わせて、東武線・西武線(一部東京メトロに乗り入れ)車内ビジョンで島の絶景をテーマとするデジタルサイネージを放映(※)。



25



27



26

アイランダーは、島と都市、島と島を結ぶ交流イベントである。来場者、出展者双方の満足度を高めることで、活気のある島づくりにつなげていけるよう、次回の開催に向けて尽力していきたい。■

イベント終了後に実施した出展団体へのヒアリングでは、「在京の島出身者に協力してもらい、交流が生まれた（和泊町・知名町）」「他の島のPRの手法が参考になった（羽幌町）」など、本催事のなかで今後のしまづくりに向けたヒントをつかんだという声も聞けた。

来場者アンケートによれば、八割の方がアイランダーに「満足」「やや満足」と答え、七割以上の方が「島に行きたくなった」、二割が「島の人と交流ができ、島へ行くきっかけができた」と回答している。本イベントを機に島への関心が高まり、実際に島を訪れる人が増えるなど、将来の関係・交流人口へとつながっていくことが期待される。